

きらっ☆淡路

商工業の発展を目指し、地域の活性化に取り組む

第 **16** 号

発行 2013. 8. 14

淡路市商工会

淡路市志筑新島5-2

TEL 0799-62-3066

FAX 0799-62-6005

URL <http://www.sci-awaji.jp>



**キッズ
あきんど**

チャレンジ事業

淡路市
in 夏まつり



子ども達からは、「楽しかった」「お客様に商品を買ってもらえて嬉しかった」「お父さん、お母さんの仕事の大変さがわかった」「大人になったら何か商売をしたい」といった声が聞かれた。

今秋には第二弾として、市内の小学5・6年生を対象に、会社設立から仕入・販売・決算までを行う本格的あきんど体験事業を実施する予定だ。

子ども達からは、「楽しかった」「お客様に商品を買ってもらえて嬉しかった」「お父さん、お母さんの仕事の大変さがわかった」「大人になったら何か商売をしたい」といった声が聞かれた。

今秋には第二弾として、市内の小学5・6年生を対象に、会社設立から仕入・販売・決算までを行う本格的あきんど体験事業を実施する予定だ。

子ども達に商売の楽しさを体験してもらうこと、将来の『あきんど』を育てることを目的として、淡路市商工会青年部が主催し、毎年多くの子ども達が参加してくれている『キッズあきんどチャレンジ事業』。

今年は第一弾として、市内の小学4年生を対象に、7月20日(土)に国営明石海峡公園で行われた『淡路市夏まつり』会場内で夜店あきんど体験を実施した。

参加してくれた48名の子ども達はお揃いのキャップをかぶり、それぞれの夜店を担当する青年部員からアドバイスを受けながら、「いらっしゃいませ!」「美味しいですよ!」と力いっぱい呼び込みを行ったり、息の合った連係プレーでお客様に商品を渡したりと大活躍。

第7回 通常総代会

— 淡路市商工会 —



平成25年度

第7回

通常総代会

淡路市商工会は、5月24日、北淡震災記念公園セミナーハウスにおいて第7回通常総代会を開催しました。当日は総代92名（代理・委任状出席57名を含む）の出席があり、平松副会長の開会のことばに続き、西会長が挨拶を述べた後、議長には北淡支部の風伸明氏が選出され、7議案について審議を行いました。

就任あいさつ

会長
西 啓次郎



皆様こんにちは、日頃は商工会活動にご理解・ご支援を頂き誠にありがとうございます。

お陰さまで淡路市商工会も合併二期目が終わり、私自身も三津前会長の残り任期2年を、皆様方のご支援のおかげで終了させて頂きました。

職員もやっと統合した組織として動き出しています。職員は3年前から県連に帰属し単位商工会に出向の形を取っており、県からの補助金も本年度より県連からの支給となります。こんな中でもう一期務めさせて頂くことになりましたので、引き続き格別のご指導とご支援をお願い申し上げます。

さて、私達を取り巻く環境・情勢は日々変化し、厳しい状況が続いています。アベノミクスと言われ、デフレが止まり、何か景気が良くなる期待感がありますが、私達の所には円安の負

担の方が先に来ています。来年4月には消費税が8%になり、続いて10%になります。また、志筑地区に(株)プラントが来年4月オープンと市役所から連絡がありました。

私達は世間様の便利のために存在できていますので、必死に工夫し、お応えしないと生き残れません。昨年度は市の緊急経済対策で2億円の「ふれあい商品券」を発行することができ、今年も予算がつけました。それと新規起業支援補助金もつけました。しかし、これらはカンフル注射です。これを利用してお客様をつかんで頂きたいと思っています。そのお手伝いをするのが私達の仕事と認識しています。商工会は全国連のスローガンである「商工会は行きます、聞きます、提案します」をモットーに、私達の経営理念であります「地域社会に貢献する商工会」「私たちは商工会員のために存在します」等の価値観・行動指針の実践に向けて努力を続けますので、何分にもよろしくご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

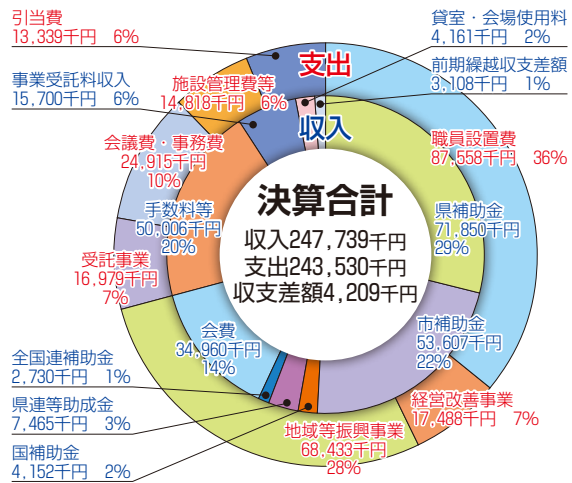
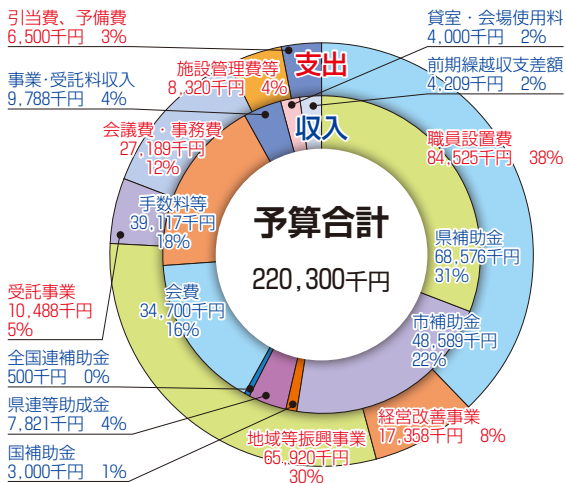
副会長
河野 征弘



摂津、播磨、但馬、丹波そして淡路の五つの国、41の市町を数える兵庫県。任をいただいた上は、商工会の果たす役割を肝に銘じ、会長を補佐しながら全身全霊、淡路市商工会活動に邁進する所存です。皆様、共に頑張りましょう!!

議案

- 一、平成24年度収支補正予算承認の件
- 一、平成24年度事業報告並びに収支決算承認の件
- 一、平成24年度特別会計収支決算承認の件
- 一、商工会運営規約の一部改正承認の件
- 一、平成25年度事業計画並びに収支予算設定の件
- 一、平成25年度借入限度額並びに借入先承認の件
- 一、任期満了に伴う役員の選任の件



顧問

三津 啓祐
ミツ精機(株)

監事

仲野 廣巳
仲野廣巳税理士事務所

大塩 茂彰
(株)国際観光ホテル淡海荘

森田 隆史
(有)森田電気設備

岡野 雅年
(株)梅葉堂

吉井 康人
(株)梅葉堂

津田 豊
(株)生田建設

生田 政美
(株)生田建設

正本 裕子
淡路紙器(有)

平松 善統
(株)平松組

平川 幸夫
(株)精華堂

岡 良男
(株)八幡光雲堂

藤村 誠二
(株)ほくだん

音田 安雄
(株)大地

砂田 泰宏
砂田設計事務所

長尾 明憲
(株)生穂建設

池上 久直
(株)池上建設

三津 幸蔵
ミツ精機(株)

福原 一公
近畿セラミックス(株)

山田 康之
(株)大杖呉服店

大杖 登
(有)山田ビーフ

梅脇 正純
梅脇縫工所

伊東 泰史
オレンヂ

渡瀬 啓行
渡瀬レッカーサービス

酒井 昌志
酒井石油店

西岡 康夫
ウエルニシオカ

山口 昌志
山口司法書士事務所

針木 均
針木米穀店

岨下 博史
岨下酒店

一貫田剛由
(有)ビックバン

高尾 昌義
(有)丸善産業(株)

桑名 正徳
(有)弁天堂

平松 章
(株)平松組

河野 征弘
(有)河野商会

西 啓次郎
ムネ製菓(株)

新役員の皆様

会長 西 啓次郎
ムネ製菓(株)

副会長 河野 征弘
(有)河野商会

理事 桑名 正徳
(有)弁天堂

理事 平松 章
(株)平松組

理事 高尾 昌義
(有)丸善産業(株)

理事 一貫田剛由
(有)ビックバン

理事 岨下 博史
岨下酒店

理事 針木 均
針木米穀店

理事 山口 昌志
山口司法書士事務所

理事 西岡 康夫
ウエルニシオカ

理事 酒井 昌志
酒井石油店

理事 渡瀬 啓行
渡瀬レッカーサービス

理事 伊東 泰史
オレンヂ

理事 梅脇 正純
梅脇縫工所

理事 大杖 登
(有)山田ビーフ

理事 山田 康之
(株)大杖呉服店

理事 福原 一公
近畿セラミックス(株)

理事 三津 幸蔵
ミツ精機(株)

理事 池上 久直
(株)池上建設

理事 長尾 明憲
(株)生穂建設

理事 砂田 泰宏
砂田設計事務所

理事 音田 安雄
(株)大地

理事 岡 良男
(株)八幡光雲堂

理事 藤村 誠二
(株)ほくだん

理事 平川 幸夫
(株)精華堂

理事 平松 善統
(株)平松組

理事 正本 裕子
淡路紙器(有)

理事 生田 政美
(株)生田建設

理事 津田 豊
(株)梅葉堂

理事 岡野 雅年
(株)梅葉堂

理事 森田 隆史
(有)森田電気設備

理事 大塩 茂彰
(株)国際観光ホテル淡海荘

理事 仲野 廣巳
仲野廣巳税理士事務所

女性部長 正本 裕子

合併前の津名町商工会婦人部に義母に代わって入会したのが三十年前になります。おとなしく人の後ろからそっと付いていく様な私でしたから、将来女性部長になるなど夢にも思っていないませんでした。しかし、多くの



合併前の津名町商工会婦人部に義母に代わって入会したのが三十年前になります。おとなしく人の後ろからそっと付いていく様な私でしたから、将来女性部長になるなど夢にも思っていないませんでした。しかし、多くの

青年部長 平川 善統

今年度、植松前部長の後を受け、青年部長に就任いたしました平川善統です。若手経営者・後継者の集まりである私達青年部は、次代の地域経済基盤の担い手でもあります。その私達を取り巻く環境は決して明るいものではないかも知れません。『UP or OUT』経営者として自身が成長する



今年度、植松前部長の後を受け、青年部長に就任いたしました平川善統です。若手経営者・後継者の集まりである私達青年部は、次代の地域経済基盤の担い手でもあります。その私達を取り巻く環境は決して明るいものではないかも知れません。『UP or OUT』経営者として自身が成長する

副会長 平松 章

会員各位が「儲かった」と思えるような事業、未来に残り続いているような事業を淡路市商工会が展開していきたいという、副会長として力を尽くしてまいります。今後とも皆様よろしくお願いたします。



会員各位が「儲かった」と思えるような事業、未来に残り続いているような事業を淡路市商工会が展開していきたいという、副会長として力を尽くしてまいります。今後とも皆様よろしくお願いたします。

地域活性化のキーワードは

『連携』



商業部会長

大杖 康之

(株)大杖呉服店



工業部会長

津田 豊

(株)ツダ



観光部会長

藤村 良男

(株)八幡光雲堂

旧5町の商工会が合併し、淡路市商工会が誕生して7年。そして、5部会すべてが始動してから3年が過ぎた。不安定な世界経済、激動の地域情勢の中、部会としてどのような道を考えているのか……新たに就任された部会長の皆様に、今後の部会の方針について語っていただいた。

行政や部会同士の

『連携』を密にしていこう

岡 皆さん、25年度の重点事業はどのように考えていらっしゃるでしょうか？

大杖 商業部会はやっぱ

『プレミアム付きふれあい商品券』の販売ですね。昨年度は年間で2億2千万円分を発行して、経済効果もありました。今年度も淡路市の協力を得て、7月7日と11月23日に販売する予定です。そ

れから『夏のスタンプ

ラリー事業』、『年末ふれあいセール事業』、『新春宝くじ事業』ということ

で、年3度のイベント事業も計画しています。大型店

が次々参入してきている環境の中でも、ふれあい

商品券を使って地元の商店で買い物をしてくださ

るお客様に喜んでいただける事業を考えていた

ら、と思っています。あとは顧客管理や商業部会

の情報に特化したホームページ作り。他の部会と

も連携していったら、より魅力のあるものにでき

るかな、と。部会のスケールメリットを活かすた

めに一歩踏み出したところですね。

津田 工業部会の重点事業で

ある研修会事業について

は、北淡路に本社機能

を移転されるプライミクス(株)代表取締役社長・古市

氏に8月27日、ご講演い

ただくことになりました。

大杖 本社機能をまるまる淡路島に移すって、普通ありえないですね。

藤村 生活基盤すべてがこち

ちになるということですからね。商工会にも入っ

ていただきたいね。

津田 もちろん、お願いするつもりです。それから視

察研修については、東大阪方面、もしくはもの

づくり事業に特化した企業や地域について実施し

ようというところで決まっております。

工業部会の事業所さんというのは非常に元気で、ここ4、5

年の間にかんがりの設備投資などをされております。

そういった状況も踏まえて、単なる連携や情報交

換だけではなく、部会員相互の理解を深める研修

事業も含めて行ってい

たいと考えております。

また、行政機関との連携も進めていきたいと考え

ております。

藤村 25年度の観光部会

は、前部会長の竹代さんのお考えを継承するというこ

とで、淡路市からの受託事業になっている『東京

PRキャンペーン事業』、『よしもと47ご当地市場

PR事業』を続けていつて、みんなと話合いなが

らより効果的なPR事業を目指していったらいいん

じゃないかな、と。それから『淡路島ええもん・うまいもんフェア』、

今年は『食のブランド淡路島』と同時開催する

というところで、お互いに競い合うようなことをや

れば、より一層盛り上がるんじゃないかと期待して

います。

岡 『淡路島ええもん・うまいもんフェア』はかな



司会／広報委員長

岡 幸夫

(株)ほくだん



建設業部会長

池上 明憲

(株)池上建設



サービス業部会長

砂田 安雄

砂田設計事務所

り認知されてきたんじゃないですか？

大杖

商工会の中心的事業になる魅力的な事業ですね。

藤村

観光PRにもなりますよね。『ええもん』って言うたら『モノ』もあるし

『ヒト』もあるし、なんでもあるわけですから。

大杖

島外のお客様に来ていただけるような仕掛けをして、京阪神からも買物に来る形にもつていたら、合併のスケールメリットも出せるんじゃないかな。今までは地域バラバラでできなかったことも、部会を通じて連携していったね。

藤村

ぜひ、連携していきたいですね。あと、特産品として開発中のオニオンラスク、かなりいいものらしいです。製品としての販路開拓とかPRの仕方とかがこれからの課題ですね。部会の中で出てきた意見を皆さんと相談して、具体的なものを生み出していきたいと思っています。

池上

建設業部会は視察研修事業と行政懇談会やね。

特に補助金制度について、行政の方から説明をしてもらいたい。公共工事の仕事も回してもらいたいし、なるべく語りかけて、密に連携を取っていかん。

岡

防災という意味でも道路整備は重要ですよ。

池上

元の状態に戻すことはもちろん、新たに使いやすき道を整備するとか、きちっとしてもらいたい。

藤村

余談ですけどね、今サイクリングのお客さんがすごく多いんです。国道とか主要な道路にサイクリングロードを併設するだけでもかなりの事業になりますよ。

池上

なるほど。みんなに意見をもらって、そんな提案もしていきたいと思います。他の部会とも協力していきたいんで、よろしくお願いします。

砂田

サービス業部会は、特に島内定住化人口促進事業を中心に考え、定住人口が増えることによって、淡路島が発展することを期待して、淡路島不動産情報ネットワーク

『AREIN事業』であるとか、サービスエリアでの観光客動向調査事業であるとか、のどかな山や田園風景、国生み神話といった歴史とロマンがある古い街並みをPRする『まちあるき事業』などをやっていくです。『淡路島ええもん・うまいもんフェア』の時にはPRブースを作って、具体的な案も提案していきたいと考えています。行政、観光部会やほかの部会とも連携してやっていきたいと思っております。

岡

皆さん『連携』がキーワードですね。

商業部会は若手育成とプラント対策が急務

岡

では、今後3年間、どのような部会にしていきたいか、お聞かせいただければありがたいです。

大杖

商業部会の場合には若手が育ってきていますので、若手の知恵も借りて、消費者に喜んでもらえる事業を行ってほしいですね。来年4月に志筑新

島にできる大型スーパーマーケット『PLANT(プラント)』対策もどういう形で対応できるか、慎重に検討していきたいです。今回初めて、行政と部会だけじゃなくて、アルクリオ、カリヨン広場、イオン淡路店の代表者と協議会を行ったんです。

藤村

みんな危機意識を持っているんですよ。ここが一番の商業の中心地ですからね。各団体や行政と密に連携を取って、魅力のある事業展開をすることによって、商工会の発展と地域の活性化に繋がっていくんじゃないかな。

課題解決のために、知恵を出し合いたい

津田

工業部会は、より多くの会員からご意見を頂戴する仕組みをつくるというのが一つ。新規誘致企業と既存企業とどんなシナジー効果が出てくるの

かをよりはつきりさせて、お互いWin・Winの関係で仕事を進めていけたらいいと考えております。

藤村

私個人としては、観光部会に参加してくれる部会員が、自分にとってプラスになる場”と思ってもらえるようにしたいなあと思っております。

『部会事業に参加したら何か得て帰ってきた』というようにしていきたい。いろんな人と会っただけ、いろんな勉強ができると思うんですよ。

津田

観光と言えば、前回の『淡路島ええもん・うまいもんフェア』のモニターツアーで来られた東京の記者の方に「とにかく公共交通が不便。淡路島に興味をもった関東の方が大勢来られたら、こっちの人が困るでしょう。だから記事にできません」と言われたんです。観光客に公共交通のことを聞かれても答えられないですよ。

大杖

藤村

10月から市が北淡路・北淡方面でコミュニティー

島内定住化の鍵は 若者世代との『連携』

砂田

サービス部会はいろいろな業種がありますんで、定住化を促進して、皆さんが活発に仕事できて、淡路島でお金が十分まわるように頑張っていきたいと思っております。講演会事業も部会

岡

テーマに沿った内容にしたいし、島外への淡路島のPR活動や観光客の誘致、島内の魅力掘り起こしを通じて淡路島に住んでいただくことを最終目標にしております。

池上

建設業部会で商売している人はずっと売上が減っていて、事業をやめるかどうかの瀬戸際にある。みんなが事業を続けていける状態にできる勉強会でもできらんもんかな、と。10年前と比べても、みんな行き詰っている。どないぞならんかな、と思っております。

岡

建設業部会はいかがですか？

大杖

今、島外の若い人は『淡路島で商売したい』という人が多くて、そういう人たちと連携したいよね。その方々は、どんなことをしたいんですか？

津田

やっぱりカフェが多いね。古民家を借りてつていうのに憧れているみたいですね。淡路島のことを気に入っているけど、どうやって生計を立てていくかっていうのが課題ですね。

大杖

2、3年で新しい工法や機械が出てきますから、対応するのは大変ですね。

池上

すぐ時代についていけなくなる。どう勉強したらいいのかが難しいところやけど、みんな考えていきたいな、と。

岡

農業で生計を立てるた

めに、農地の段取りまでできた人つてごく一部ですね。

大杖

でも、『淡路島の伝統を知りたい』、そして最終的には『淡路島に住みたい』って、かなり求めているんですよ。

岡

社会奉仕の意識はすごく強いですよ。

藤村

嬉しいことですよね。

岡

北淡の生田地域が運営している『そばカフェ生田村』近辺でも新しくカフェができて、その店長さんが、大阪から来られた女性らしいんです。そういう場所でも『来ませんか？』と募集したら、かなり応募があるらしいですよ。

大杖

たとえば不動産業者が貸してもいい古民家リストを作って、賃料の交渉もしてあげて、間に入っ

津田

てあげられたらいいですよ。

藤村

物件を持っている方も、相手を知らないから貸せないでしょう。

大杖

その人を信用しているから貸せるんですよ。

大杖

不動産業者のようなプ

藤村

うちはそのうち跡取りを募集しようと思ってるんですよ。一般公募して継げるような人、最初は低給料でも我慢できるような人を雇ってね。

大杖

そういうことを商工会で取り纏めできたら、いろいろできそうですね。

砂田

異業種間、部会間、相互間でうまくやっていくと。こういう部会長会っていいですね。

藤村

部会を超えての異業種交流ですからね。

大杖

部会を超えての異業種



部会だより

女性部

平成25年度提案公募型地区事業

『淡路島を咲かそう』

『笑門来福・リピーターを増やそう』

淡路島観光GMでもある、たむらけんじ氏を招き、「淡路島を咲かそう」笑門来福・リピーターを増やそう」のタイトルで、トークショーおよび環境風土のスペシャリストや島外から移り住んだ方等を招いてのパネルディスカッションを企画しております。

淡路島を咲かそう……『咲』の字には「花を咲かす」という意味だけではなく、「笑」という意味もあり、『私たち女性部員が笑顔でお客様に接し、多くの皆様に笑顔になってい

ただきたい』との思いを込め、実行委員会一同準備を進めています。

トークショーとディスカッションでは、島内外から淡路島の魅力を再発見するとともに、今淡路島に求められているものを探るため、島内女性部員によるアンケート結果を反映させた内容を企画中です。また、今回の事業を通じFacebookにより新たな情報発信を予定しております。『淡路島を咲かそう』、当日多数の皆様のご参加、よろしく願いたします。

提案公募型地区事業講演会
淡路島を咲かそう
～笑門来福 リピーターを増やそう～
※淡路島の魅力を再発見する
※笑門来福の笑顔を堪能できる

平成25年10月3日(木)
講演時間 14:00～16:00 (受付13:30～)
開催場所 夢舞台 国際会議場 イベントホール
(ツエスティンホテル隣接)
※当日会場は1階

参加費 無料(定員240名)
※定員に達した場合は、お席にお申し込み下さい。
内容 ①14:00～14:40 たむらけんじトークショー
②14:50～16:00 淡路島に住む魅力を感じるパネリストディスカッション

パネラー
たむらけんじ
笑門来福
リピーター
増やそう

お問合わせ・お申込みは各商工会へ
主催 / 淡路市商工会女性部
TEL. 0799-62-3066
淡路市商工会女性部
TEL. 0799-22-2571
淡路市商工会女性部
TEL. 0799-33-0450
淡路市商工会女性部
TEL. 0799-42-4721
共催 / 淡路市
兵庫商工会連合会

日時 10月3日(木)
14:00～16:00
場所 淡路夢舞台
国際会議場
イベントホール
入場 無料
申込先 淡路市商工会
☎0799-62-3066

観光部会

「淡路市東京PRキャンペーン」

開催!

今回で4回目の開催となる「淡路市東京キャンペーン」を、5月29日(水)～6月4日(火)の7日間、東京都庁内にある全国観光PRコーナーにおいて開催した。

観光部会員にオリジナル特産品の出品を募り、約40品目を出品。5月の開催ということ

ちりめんやワカメといった水産加工品の人気が高く、売り切れる商品が多数出た。また既存商品の販売とともに、試作開発中の商品の試食・アンケートも行っなど、販売だけでなく今後に繋がる調査なども効率よく実施できた。

肌で感じられるのが魅力の一つだ。



で、目玉商品として『早生タマネギ』を用意し、ネット3個入りがとて好評だった一方、長期保存できないこともあり、箱買いされるお客様は少なかった。その他の商品では、特に

この事業は、消費者と接する機会が少ない製造事業者が売り場に立つて自社商品のPRをする。お客様と直接コミュニケーションを取ること、事業者が『お客様の声』を直接



過去の開催を通じて出品事業所の通信販売をご利用いただいているお客様も多数おられ、事業主との会話を楽しみにお越しくださいるお客様もいるなど、2年前から継続して開催してきた成果が少しずつ表れてきている。更なるファンづくりを目指して、今後もPR事業を続けていきたい。

島村兄弟オリジナル 黒酢玉ねぎドレッシング PB商品化導入による 粗利益の拡大化

株式会社 島 村
代表取締役 角村 憲一



強烈なインパクトの 『島村兄弟』

赤い屋根の駐車場に着いた瞬間、『島村兄弟』ののぼり旗やポップの嵐、まるでアミューズメントパークに迷い込んだような強烈な思いに駆られた。この店を情報発信の基地にした、あの店に行けば面白い事があると思ってもらいたい。という角村氏の思いが込められた店づくりだ。商品陳列も工夫し、売れ筋商品の売場面積を広げ、より目立つようにしている。

粗利拡大と差別化を 狙うPB商品開発

最初は何でも揃う土産物店を目指したが、あまりにも商品種類が多く、在庫管理など雑多な問題があった。仕入商品であるため、粗利益にも限界があった。

そこで角村氏は『プライベートブランド商品を作りたい』と考える。その商品を中心とした売場展開が可能になる上、製造から販売を一貫して行うことで粗利益の拡大も見込めるからだ。試行錯誤した結果、まずはドレッシングを作ることに。どんな商品にするか考えあぐねてい



店頭が一番目立つ場所にドレッシングがズラリ

る時、
「玉ねぎと黒酢を合せたら。健康にも絶対いい」
とお客様に教えられた。

黒酢は最初、飲んで『無理』と思ったが、一年以上寝かせるともろやかになることがわかった。玉ねぎは食感を大事にしよう、生のまま刻んで入れた。無添加で、玉ねぎの辛みと香りが黒酢とうまい具合に融合した商品ができあがった。

ドレッシングの評判は良くリピーターも多い。さらに買手目線に立って使い切りサイズを揃えることで新規顧客を開拓したいと考えている。また、お客様の味の好みに対応するため、フルーツ玉ねぎを使ったものや、しょうが味・ニンニク味といったバリエーションを展開し、シリーズ化していくことで、他店との完全差別化も狙っていく。

夢はでっかく 経営革新は通過点

「異業種の人の意見は凄くためになりますね。経営革新塾はチラシを見て参加したんですが、先生から商品陳列のアイデアとか面白いことをたくさん教えてもらいましたよ。経営革新はするべきですね。何かしら得るものがありますよ」

多くの人のアドバイスが結果してできたドレッシングを、これから発展させるのは自分だと感じている。

「夢はでっかいほうが楽しいでしょう」

という角村氏の構想は果てしない。ドレッシングのノンオイル化、玉ねぎにかけると玉ねぎドレッシングの開発、オリジナル商品のアイテム数拡大、第一次産業とタイアップしての自社工場生産……。夢はどんどん膨らんでいる。

(正本 裕子)



伝統ある『壁土屋』の 五代目として

大正元年に壁土販売業として創業し、現在では漆喰メーカーとして日本全国に事業を拡大している近畿壁材工業株式会社。濱岡氏がその代表取締役役に就任したのは昨年5月。伝統ある事業を引き継ぎ、どのように成長させていくかを模索していたこの職員から経営革新をすすめられた。

テーマは『日本の伝統文化と現代建築の融合』。70年代、前社長（現会長）が漆喰壁の既調合化を成功させ、社寺や城といった伝統建築への販売を行っていたが、『自然素材100%で安心で安全な伝統ある漆喰壁を、一般住宅にも広められないか』と考えたのがきっかけだった。

お客様のニーズに合った 塗り壁の開発

漆喰壁が持つ調湿機能や防火性、抗菌作用などの優れた特性を活かした商品を、お客様のニーズに合わせて即座に提案することが以前の販売中心の商社形態では難しかった。そこで『モノ作りのできる』メーカーとして事業を再度見直し、経営資源



クロスの上から
塗っても大丈夫

を集中させた。

現代建築と漆喰を融合させるため、石膏ボードやビニールクロスの上にも塗れるような下地材を開発。漆喰特有の純白以外の色、パターンやデザインといった要望にも対応できるよう、地元淡路島の色土を使ったカラー漆喰なども完成させた。

伝統建築の需要が減少する中、ユニークな特徴を武器とし、設計事務所や工務店などへ漆喰壁の安全性や価値を伝えようと、『安全で安心の住宅造りのお手伝い』をモットーに営業力を強化。社長自らも全国を飛び回っている。

商品ではなく『日本の 伝統文化』を売り込む！

「漆喰はヨーロッパでは400年以上、日本でも500年以上の歴史があります。姫路城などで見られる『漆喰をまっすぐに塗る職人の技術』は、まさに『日本の

伝統文化』ですよ」

と語る濱岡氏。漆喰を『商品』として売るだけではなく、原材料から製造方法、施工技術すべてを含めた『昔ながらの伝統的な漆喰の継承保存活動』にも意欲的だ。

「経営者として利益を生むことは重要であると十分理解しています。しかし、100年間同じ場所ですべて売ることができた理由、経営理念の必要性、社会に必要とされる会社になる意味が経営革新に取り組むことで理解できた気がします。私のような世襲経営者は、自社のことや進むべき方向性がわかっていないので、日々苦しみますが、経営革新への挑戦は現在の状況を理解し、将来の『あるべき姿』を考えるのに本当に役立ちましたね」

経営革新への取組は社長自身への意識改革にも繋がっている。「日本の伝統文化と現代建築の融合を実現します！日本文化の継承と安全で安心に暮らせる住宅づくりに貢献していきますよ（笑）」と明るく笑顔で語っていた。

（平松 秀章）



経営革新

日本の伝統『漆喰壁』の 新商品開発および 直接提案型販売への移行

近畿壁材工業株式会社

代表取締役 濱岡 淳二

フレッシュ & リフレッシュ

新規オープンや新装リニューアルされた方の事業所紹介コーナーです。



〒656-2163 淡路市中田65 ☎090-5017-6751
 営業 10:00~19:00(最終受付) ※事前予約制
 URL <http://profile.ameba.jp/angelrose-pink>

津名 雨松 真弓
 2013年1月7日OPEN!! 天使と薔薇の空間で、『女性が大好きなものに囲まれて癒しの時を過ごしてもらいたい』を実現。エンジェルコースは服を着たまま気軽にできる、体・手・足のツボのリリースソロジー。ローズコースは上質のオイルを使ってフルハンドで施術。とろけるような心地よさをぜひお試しください。



リラクゼーションサロン
Angel Rose



〒656-2401 淡路市岩屋1414-25 ☎0799-72-2079
 営業 12:00~21:00 休第1・第3木

北淡路 代表 市川 武良
 一度は閉店しましたが、今年再オープンしました。生地すりおろしたトロロを入れた、軽い口当たりのお好み焼きや、お酒に合う串カツが人気です。冬はカキの味噌ホイル焼きも大好評。店主がお客様の好みに合わせてアレンジします。
 地元の方に気軽にきていただける店にしたいと思っています。お待ちしております。



マルト食堂

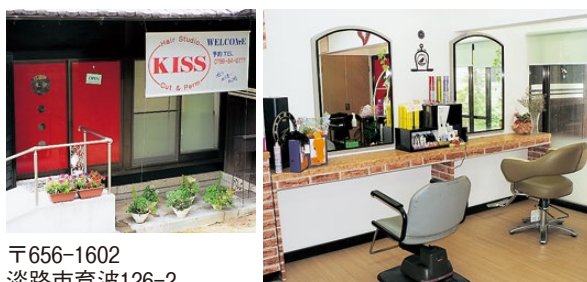


〒656-2223 淡路市生穂1563
 ☎0799-64-0054
 FAX 0799-64-2136
 営業 8:30~18:30 休木

津名 代表 川原 敦幸
 淡路島近海の新鮮な魚を中心に、ハモやフグなど各季節の旬の魚を調理・販売しております。また、いかなご釘煮やちりめんはもちろんのこと、買つてすぐに食べられる焼魚やお寿司も日替わりでご利用しております。(焼魚、お寿司は即売り切れの場合があります。ご注意ください)
 是非一度お立ち寄りください。



魚福鮮魚



〒656-1602 淡路市育波126-2
 予約 ☎・FAX 0799-84-0777 営業 9:00~18:00 休月・第3日

北淡 代表 山本かおり
 4月12日より、育波に移転しリフレッシュオープンしました。
 『お客様にゆつくりとした時間をすごしていただき、癒しを感じてもらえるよう、一人一人との関係を大切に...』をモットーに、予約制で営業しています。
 今のおススメは、炭酸ミストを使ったヘッドスパ!!
 ぜひ一度爽快感を体験してみてください。

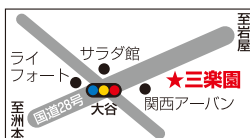


ヘアスタジオ
KISS



〒656-2224 淡路市大谷908-3
 ☎・FAX 0799-64-1729
 営業 11:30~21:30 (L.O) 休木
 Facebook [三楽園](#) 検索

津名 代表 松本 和昭
 『贅沢を感じられる空間づくり』にこだわりました。全席個室で、厳選した淡路ビールを備長炭でお楽しみいただけます。新しく設けたカウンター席は完全予約制。ショーケースの中に並べられた肉の中から、好みの部位をお選びいただけます。
 デートや記念日といった、大切な人との素敵なひとときをお楽しみください。



淡路黒毛和牛焼肉
三楽園

『信頼される 100年企業塾』 が開講！



淡路地域商工会振興協議会と洲本商工会議所が合同企画した『信頼される100年企業塾』が、6月19日(木)に淡路市商工会館で始まった。本講座は昨年度に実施した『淡路島繁盛店塾』の続編として、安倍孝夫氏を講師に迎え、『顧客価値創造』と『人材育成』を主軸とし、事業所が向かうべき方向性を半年かけて探っていく。



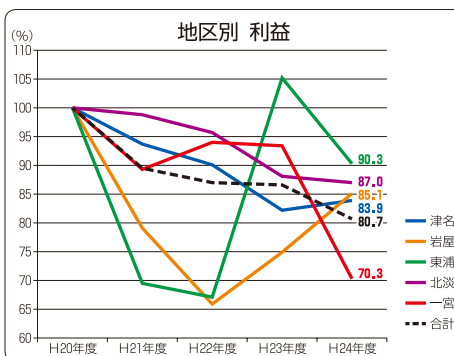
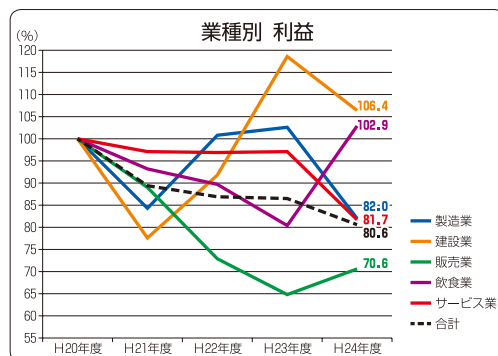
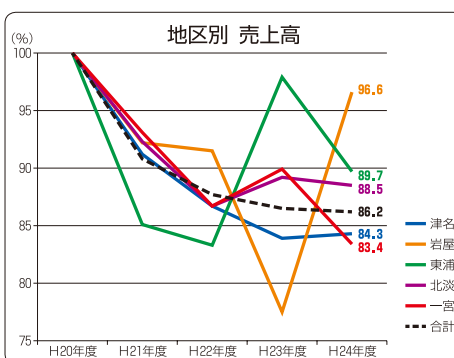
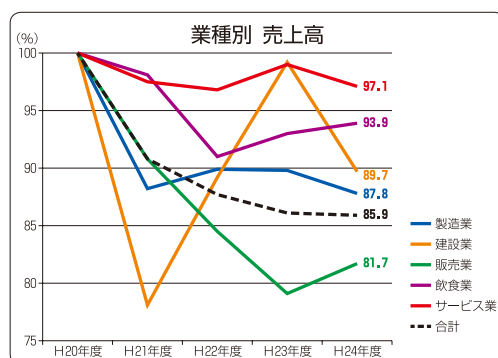
安倍先生は淡路島出身。洲本高等学校を卒業後、京都大学へ進学。ハーゲンダッツジャパン(株)取締役や、ベン&ジェリーズジャパン(株)営業部長などを歴任された。

受講生は全島から集まった14事業所の経営者や後継者など。講座終了後もサポートできる体制を作るため、事業所ごとに担当職員がつき、資質向上と信頼関係強化を同時に図る。

第1回目は『信頼される企業条件』をテーマに自社を振り返る内容で、受講生たちは積極的に意見交換を行い、受講に対するモチベーションの高さをうかがわれた。今後は月1回、全8回の予定で開催される。

平成24年分の青色申告会員景況状況

業種別で売上高と利益が前年より高くなったのは 販売業と飲食業



淡路市商工会では平成25年2月5日より3月15日の間、青色申告会事業所の決算申告に携わってまいりました。前年対比が可能な事業所を対象に、業種別売上高・利益及び地区別売上高・利益の分析を行い、平成20年を基準に5年間の「青申

会員景況状況」をグラフにしました。地区別の売上高では岩屋地区が前年比19・1%と目立って高くなりましたが、利益については東浦・一宮地区は前年比それぞれ14・9%・23・1%低くなりました。売上高及び利益でも

2年連続高くなったのは、岩屋地区のみでした。業種別の売上高と利益で、販売業と飲食業の2業種だけが前年より高くなりましたが、反対にその他の業種(製造業・建設業・サービス業)は前年より低くなったのが今年の特徴です。

これからの講座・イベント案内

講座

9月上旬～3月下旬

企業の未来を創る！「経営革新セミナー」

講師：(株)ウィレンス 島ノ内英久氏
対象者：島内中小企業等の経営者・後継者
参加料：会員 ￥10,000 非会員 ￥20,000

11月中旬

夢を実現する「起業家支援セミナー」

講師：コア・サポート(株) 黒野秀樹氏
対象者：起業希望の方、起業後概ね2年以内の方

イベント

9月23日(月・祝) 神楽まつり

10月3日(木) 「淡路島を咲かそう」
トークショー

11月10日(日) 淡路島ええもん・
うまいもんフェア
キッズあきんど事業

11月23日(土) プレミアム付き
ふれあい商品券販売

※詳しい内容は淡路市商工会までお問い合わせください。

淡路市内で新たに起業する方を応援します！

淡路市・新規起業家 支援補助金事業

対象者

市内で創業する計画があり、淡路市商工会の経営指導等により推薦を受けられる市内に居住する個人事業主または本店を置く事業主。

助成内容

初期投資支援

開店に必要な内外装工事や機械設備導入に係る経費助成

対象経費の1/3以内(最高70万円)

※工事等は市内施工業者に限る。

※持家として購入し、改装等を行った場合は最高100万円。

店舗等賃貸料支援

営業に必要な店舗の賃借料を助成

賃借料の1/3以内を1年間

(最高25,000円/月または30万円/年)

条件

淡路市商工会開催の「起業家支援セミナー」の受講並びに淡路市商工会推薦の経営アドバイザーによる起業および経営に関する指導を受講すること。

お問合せ先

淡路市商工会 TEL 0799-62-3066
淡路市商工労政課 TEL 0799-64-2524

ご確認ください!!

商工会発行の「ふれあい商品券」には
有効期限があります。

発行日より **6カ月以内**

※有効期限を過ぎますとご利用いただけませんのでご注意ください！



有効期限がわかりやすくなりました

はろかぜ

淡路市商工会では、役員の任期満了により、新役員が選出されて本部委員会・部会も新体制で活動をスタートしております。

任期(3年)の初年度にあたり、商業・工業・観光・サービス業・建設業の5部会の新部会長の皆様にお集まり頂き、部会の活動方針と重点事業をお伺いしました。部会同士の連携を深めて事業展開していくことが課題で、地域の各種団体や若者とも連携を進め、知恵を出し合うことが、商工業の発展、地域の活性化に繋がると改めて感じました。新部会長の皆様、3年間、宜しくお願い致します。

来年4月には、本四高速道路の料金改正が予定されており、島外から観光客・島内定住者の増加や輸送コストの低減などを期待されますが、淡路島の人々が連携すること、より多くの恩恵をあげることができるよう望みます。

広報委員会においても、会員の皆様には有益な情報を解りやすく提供できるように取り組んでいきますので、今後とも、宜しくお願い致します。
(岡 幸夫)